

# オレンジ通信 Vol.18

さ さ き  
佐々木まゆみ市議会活動レポート

2017年5月発行

発行元／仙台市議会公明党市議団 仙台市議会議員佐々木まゆみ  
仙台市宮城野区幸町2-21-11 TEL022-707-7462 メールアドレス sasaki@sendai-komei.jp

## 震災の記憶をあらたに、 千年に一度の「まちづくり」へ 共に歩み続けます。



東日本大震災より丸6年を迎えました。生活再建への不安や社会的孤立に直面している被災者もまだまだ数多くおられます。生活の再建とともに、より一層の心のケア充実が求められております。

被災地では復興の槌音が響き、見た目には進んでいるように映ります。その一方で、新たな段階の支援が必要となっていることを強く感じます。震災の風化を防ぐこと、それは私たちをはじめ多くの方が震災の記憶を新たにすることです。

「千年に一度の災害」を「千年に一度の学び」ととらえ、「千年に一度のまちづくり」へ、あらゆる努力を結集し、風評・風化という『二つの風』に抗い、復興を前に進め、すべての被災者が「人間の復興」を成し遂げるその日まで、共に歩み続けてまいります。

仙台市議会議員 佐々木まゆみ

さ さ き  
佐々木まゆみのプロフィール

昭和39年7月仙台市生まれ。平成23年仙台市議会議員初当選(宮城野選挙区)。現在2期目。  
【仙台市議会】都市整備建設委員会副委員長。防災・減災推進調査特別委員会。

# 子育て、食生活をテーマに 明るく活力あふれる社会を めざします。

平成29年 第一回定例会  
予算特別委員会  
平成29年2月24日・28日



## 子供たちが健やかに育つ環境の更なる充実を!

### 「電子母子健康手帳」について

**【佐々木まゆみ議員】**東日本大震災では、多くの母子健康手帳が紛失し、記録が残されなかった等の問題が発生したが、電子母子健康手帳では万が一、冊子を紛失しても記録が残されているといった利点がある。子育て支援策の一環として本市においても、このアプリを活用しての様々な情報発信をすべきと考えるがどうか。

**【子育て支援課長】**電子母子健康手帳アプリは、紙の手帳を補完するものとして複数の企業等が開発・運営を行っており、スマートフォンにダウンロードすれば、予防接種の時期が表示されたり、子育て関連情報が届いたりするなどの機能を有している。本市においても、現在メールアドレスを登録していただいた方に対し、乳幼児健診、予防接種等の受信時期や、のびすくでのイベント等の子育て支援情報をお知らせする「メール配信サービス」などの取り組みを行っているが、新たなツールの活用も含め、今後とも効果的な子育て支援情報の発信について検討して参りたい。

**【佐々木まゆみ議員】**近年、多くの自治体が「父子手帳(イクメン・ハンドブック)」を発行し、広島県ではプラチナ世代の育児参加を後押しするため「じいじ・ばあばのための孫育て応援ブック」を発行している。子育てを家族で情報共有できる仕組み・環境づくりが大事と考えるがどうか。

**【子育て支援課長】**本市では子育てサポートブック「たのしねっと」をすべての妊婦の方にお渡ししており、

この中で、父親を含めたご家族向けに子育てのポイントを紹介するなどの取り組みを行ってきている。平成29年度からは、新たに父親や祖父母に向けた内容に特化したページを追加する予定としているが、今後とも効果的な情報提供の在り方について、他都市の取組等も参考にしていきたいと思います。

**【奥山市長】**若い世代の母親のみならず、父親、プラチナ世代も子育てを応援するというのは、新たな育児情報の収集であるとか、自分自身の家族内での役割の再確認、そういったプラスの面もあるかと思われる。行政としても、それら社会環境の変化等も見据えながら、必要な情報、そしてまた家族的支援の在り方が、より仙台の子育てに資するような方向に向けて、なお一層研究し実現に努めて参りたい。

### 食品の「もったいない」を広めよう!

**【佐々木まゆみ議員】**ごみ減量・食品ロスについて。食品ロス、売れ残りや食べ残しなど、本来食べられるはずの食品が廃棄されてしまうロスを削減していくという取り組みが広がっている。本市としての取り組みはどうか。

**【ごみ減量促進課長】**これまで、食材を「使いきる」「食べきる」「水をきる」の3つの「きる」の呼びかけによる生ごみ減量や、生ごみ袋の肥化容器、家庭用電気式生ごみ処理機の購入に対する補助、生ごみ減量・リサイクル講座の開催、生ごみを減量できるエコ

料理の紹介などに取り組んできた。新年度はこれらに加え、「もったいないキッチン事業」を実施し、より実践的な生ごみ減量行動につながる啓発を行っていく。

## 「食べきり協力店」の推進を!

**【佐々木まゆみ議員】**長野県松本市では、飲食店において、宴会の乾杯後30分とお開き前10分は自分の席で食事をすることを推進する「残さず食べよう!30・10運動」や、高齢者などから宴会で出される料理が食べきれないとの意見もあることから、量より質を重視した「プラチナメニュー」の提供店の推進等、特色ある取り組みを行っている。

また横浜市では小盛りメニューやハーフサイズの導入、持ち帰り希望者への対応、食べ残し削減に向けたポスターや呼びかけの啓発活動に協力する宿泊施設や飲食店を「たべきり協力店」として登録し、ステッカー掲示し協力店を市のホームページに掲載している。このような取り組みは、本市としても大変に有効であると考えているがどうか。

**【ごみ減量促進課長】**家庭ごみの約3割は生ごみであり、家庭における食品ロスの減少に向け、生ごみの排出が一日一人あたり450グラム以下となるよう啓発していくとともに、事業系生ごみの削減も大変重要であることから、飲食店などの協力を頂き「もったいないキッチン」のインターネットサイトで「食べきり協力店」として広く周知するなど、取り組みを進めていく。

## 市役所で「オフィスフード・ドライブ」を!

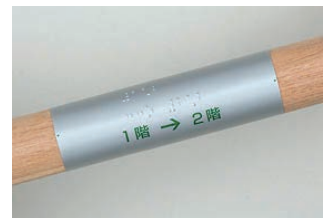
**【佐々木まゆみ議員】**長野県では、関連部局と連携しオフィス・フードドライブを実施。集まったお米や缶詰などを生活困窮者を支援する団体へ寄付をしている。オフィス・フードドライブの実施を是非本市でも行うべきと考えるがどうか。

**【ごみ減量促進課長】**仙台市内でもフードドライブの取り組みを行っている団体があり、食品ロスの削減に資する取り組みであると認識していることから、連携した取り組みができるよう検討していく。

実現  
しました

## 市民センターの手すりへの点字プレート設置

市内に60有る市民センターのうち未設置が9施設(片平・貝ヶ森・落合・東部・幸町・秋保・馬場・湯元・長命ヶ丘)あり、早期に整備を進め、28年度中に設置となりました。



イメージ

## 学校トイレの様式化

遅々として進まなかったトイレの整備ですが29年度の整備は下記の通りです。これからも早期整備に向け、要望して参ります。

- ・設計 11校(小学校6校・中学校5校)
- ・工事 11校(小学校6校・中学校5校)
- ・体育館トイレ改修設計 14校(小学校8校・中学校6校)

災害時に避難所となる学校体育館のトイレについては、10ヵ年計画でひろびろトイレの新設と便器の洋式化の整備を行います。また、75有るコミュニティセンターは15施設がまだ未設置ですが、29年度中での設置予定です。



## 災害弱者の家具転倒防止対策

昨年9月の決算特別委員会で進捗状況を質疑し、本年3月7日現在、利用した世帯数は204世帯となり、過去5年の平均(151件)と比べ35%増加となりました。

佐々木まゆみ 日々の活動



要望書提出

仙台市西部地区の宮城交通・路線バス運行時間帯縮小に対する要望書を提出しました。



幸町小学校卒業式



幸町中学校卒業式

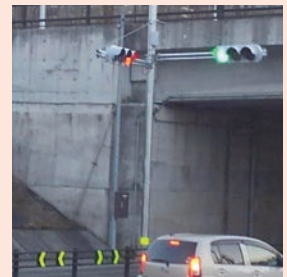


東日本大震災追悼式に参加



信号機設置

市道幸町三高線、三差路交差点(安養寺二丁目)に設置され、3月23日から稼働となりました。昨年、地元の地域の皆様、約900名の方々から署名を頂き、仙台東警察署に要望書を提出し、28年度内での設置となりました。



荒浜地区の地域モニュメント  
完成除幕式